

経営比較分析表（令和4年度決算）

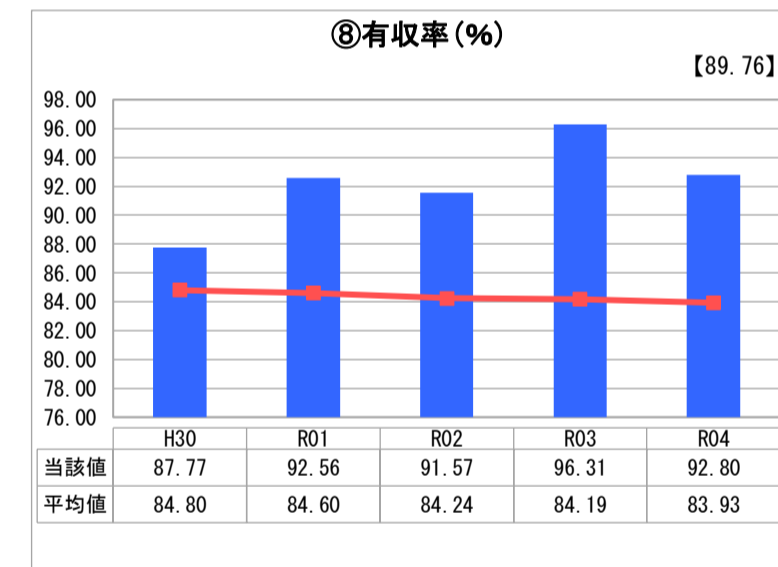
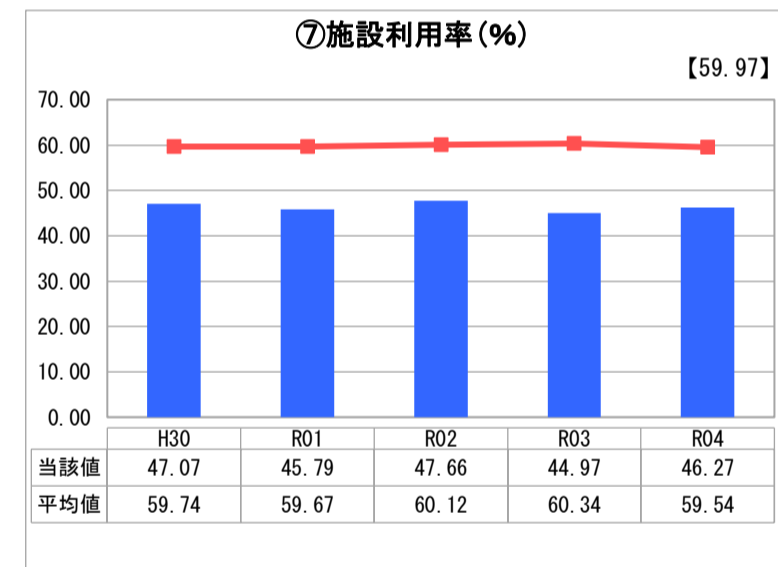
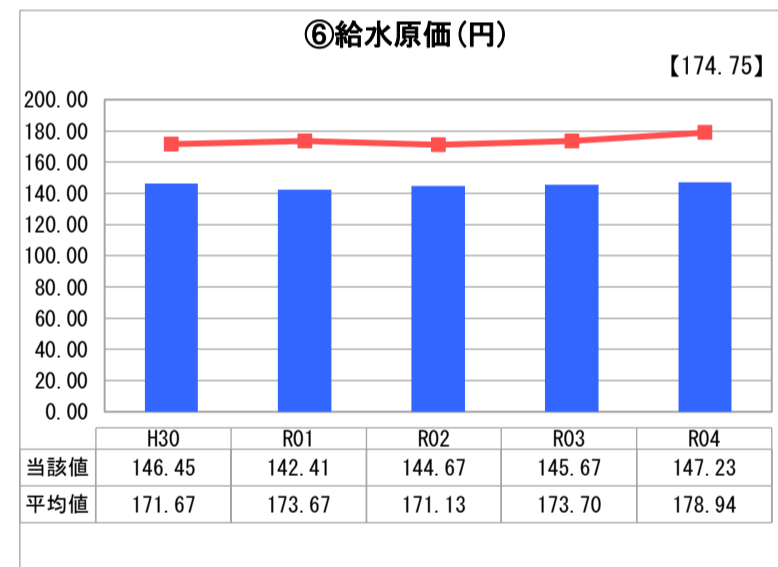
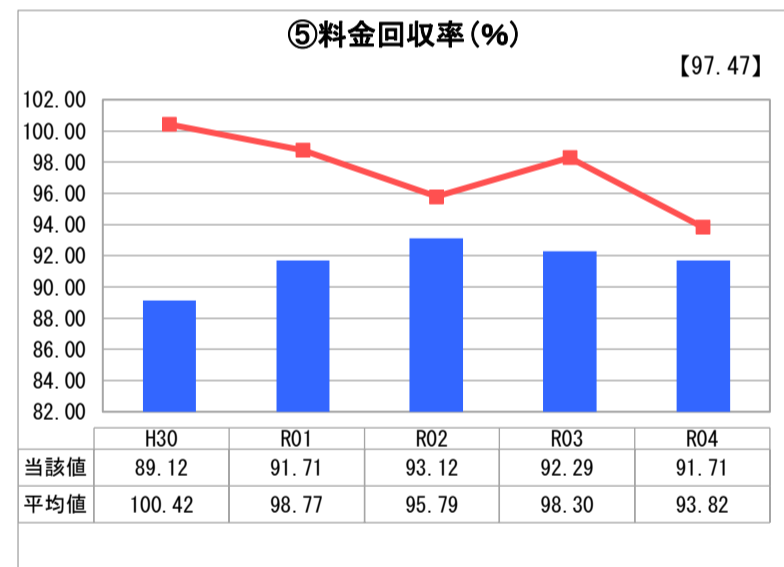
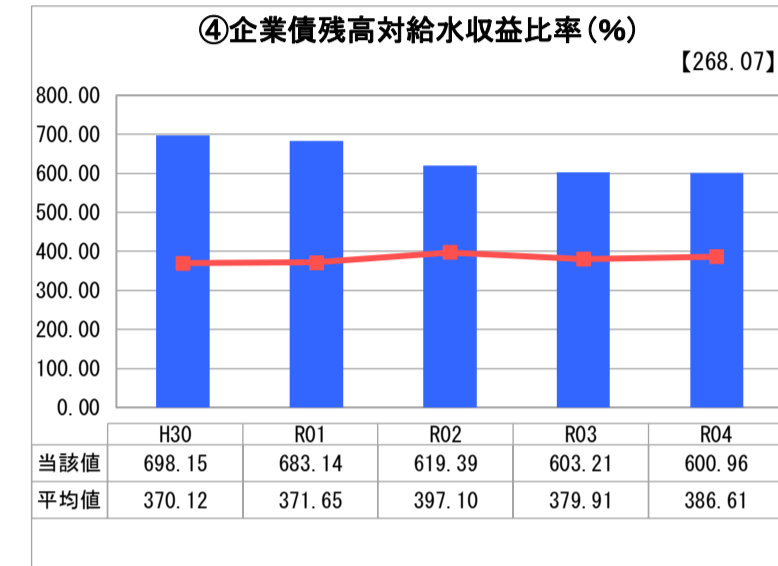
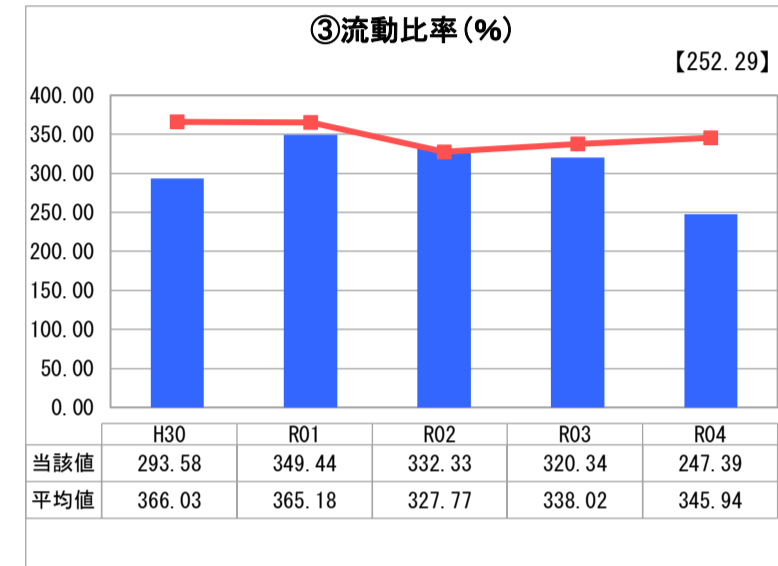
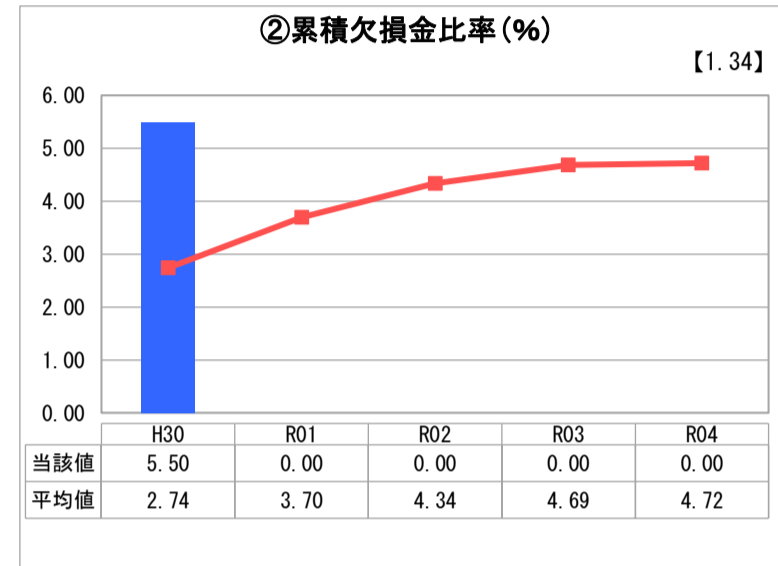
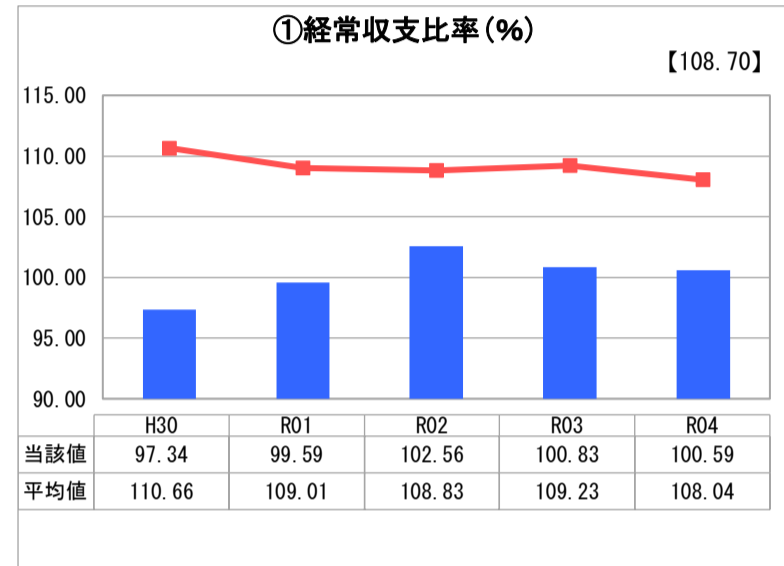
熊本県 益城町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	56.32	96.53	2,780	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,718	65.68	513.37
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
32,615	20.53	1,588.65

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

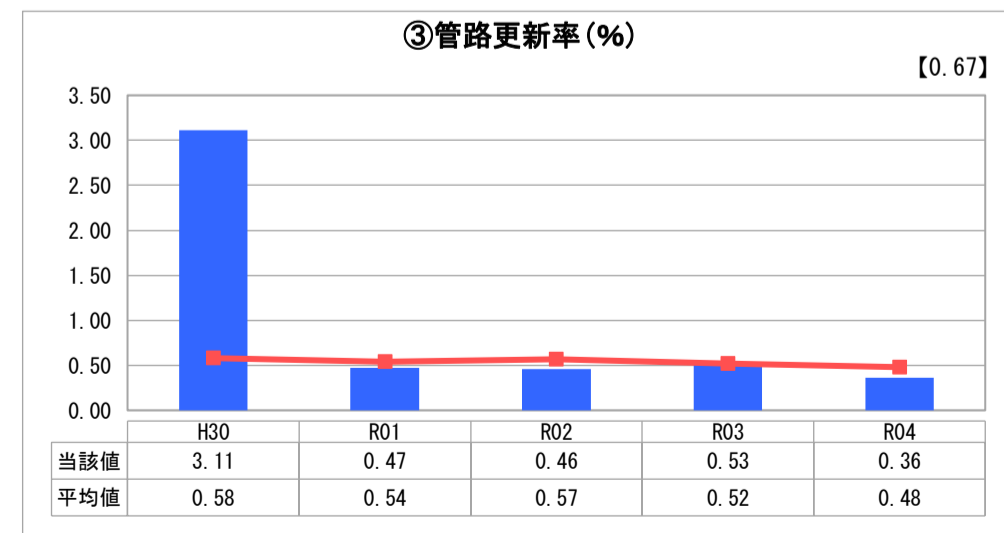
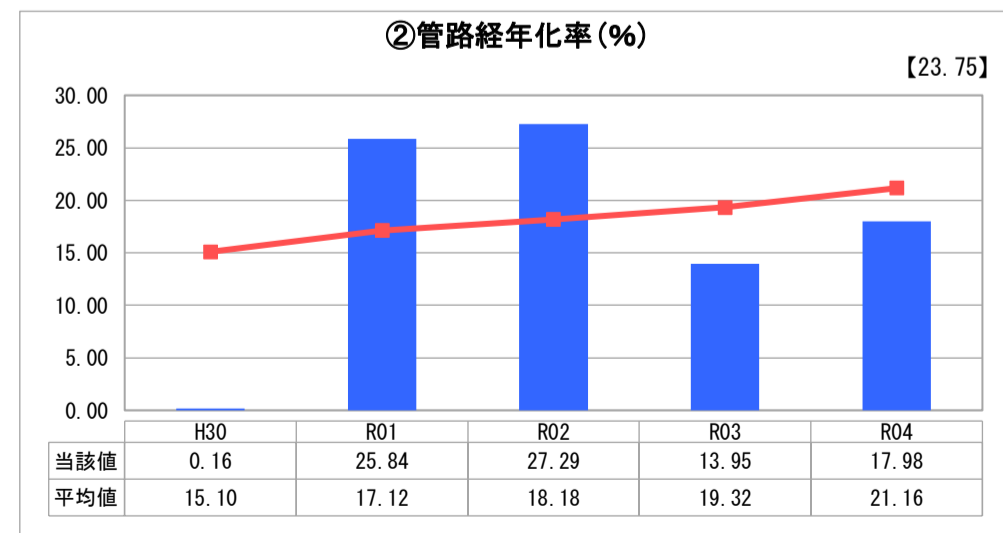
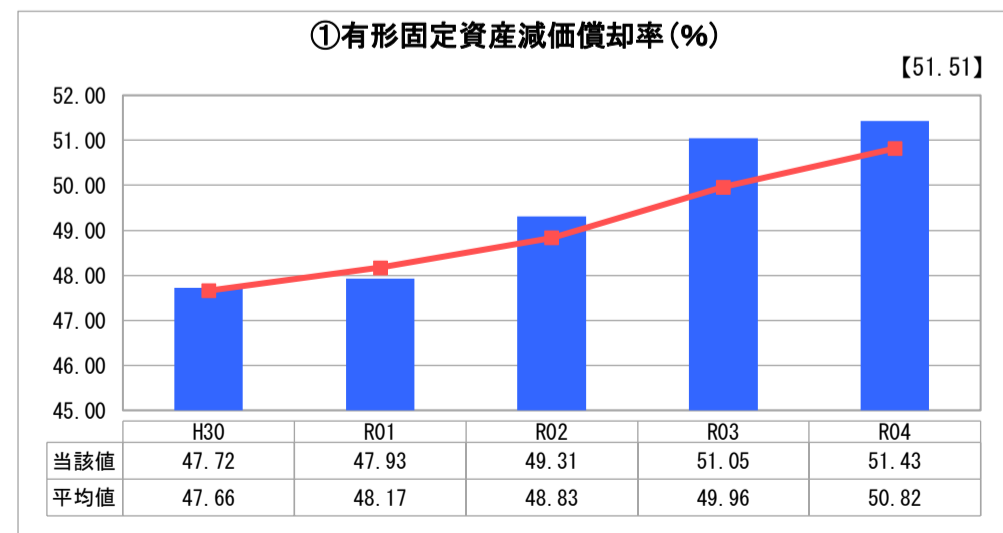
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っているが、類似団体と比較すると低い水準であるため、今後もさらなる経営の健全化に努めていきます。
 ② 累積欠損比率はありません。
 ③ 流動比率は、前年度を下回っているが、1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す指標が100%以上となっていることから、健全性は保たれています。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は減少傾向にあるが、類似団体平均値を大きく上回っており、料金水準の適正化による財源確保を図っていく必要があります。
 ⑤ 料金回収率は100%を下回っており、⑥ 給水原価は類似団体平均値より低い水準となっています。料金水準の適正化と維持管理費等の削減を図る必要があります。
 ⑦ 施設利用率が低い状況から、施設の見直し等の検討が必要です。
 ⑧ 有収率は、類似団体と比較すると高い数値となっているが、水道管の老朽化に伴う漏水が増えているため、計画的な老朽管の更新や漏水対策に取り組んでいきます。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、近年比率が増加傾向にあるため、償却資産の老朽化が進んでいることがわかります。計画的に施設の更新を実施する必要があります。
 ② 管路経年比率③ 管路更新率は、類似団体を下回っています。今後も耐用年数を経過した管路の更新に取り組んでいきます。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後も復興事業、耐用年数を経過した老朽管や施設の更新による建設改良費の増加が見込まれることから、経営状況の悪化が懸念されます。将来にわたり安定した経営を維持していくために、財政状況を考慮しながら、合理的かつ計画的な施設・管路の更新に取り組んでいきます。